



杉本 夏子^{さん}
北海道松前町
温泉旅館矢野

北海道最南端の町、松前町で母が女将、私は若女将として二人三脚で温泉旅館矢野という小さな宿を切り盛りしております。

前と、実家の旅館は改めて新鮮な場所となっております。

「夢は必ず実現する」

12歳で遠方の学校へいき、旅館を継ぐため実家へ帰ってきたのが30歳の時でした。まったく旅館業と接点のない生活をして、古くは江戸時代の北

端のお城と桜の町。そして、古くは江戸時代の北

前船の交流で培われた松前独自の文化が今でも多く残っている町。海や山の豊かな自然、風土と歴史を生かし松前とともに生きる宿を目指しております。

祖母が7室から始めた当時は、お客様の靴下を洗って炉端にきりたんぼ

娘。女将である母は常々「自分の思い描いた夢は必ず実現する」と、夢をもって旅館を作り上げてきた人です。

私はどうかな？ 今私自身が楽しいと思うことが自分の行動の原動力となっていることを忘れず、お客様との出会いに感謝し、笑顔で絆を深め幸せを感じていきたいと思っております。

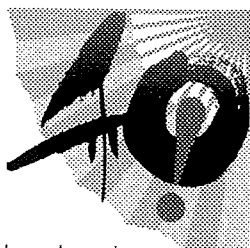
これからも祖母と母と私の宿に夢の終わりはなさそうです。



次の方、第3走者は秋田県・男鹿万盛閣の斎藤さんへ。「秋田へ行った時はお会いしましょうね！」

ともあります。

母は一人娘。私も一人館 矢野 若女将



をもちてJKK

全旅連・女性経営者の会

リレーコラム

Vol. 3

(北海道松前町・温泉旅館 矢野 若女将)